



山口県産業の現状と課題

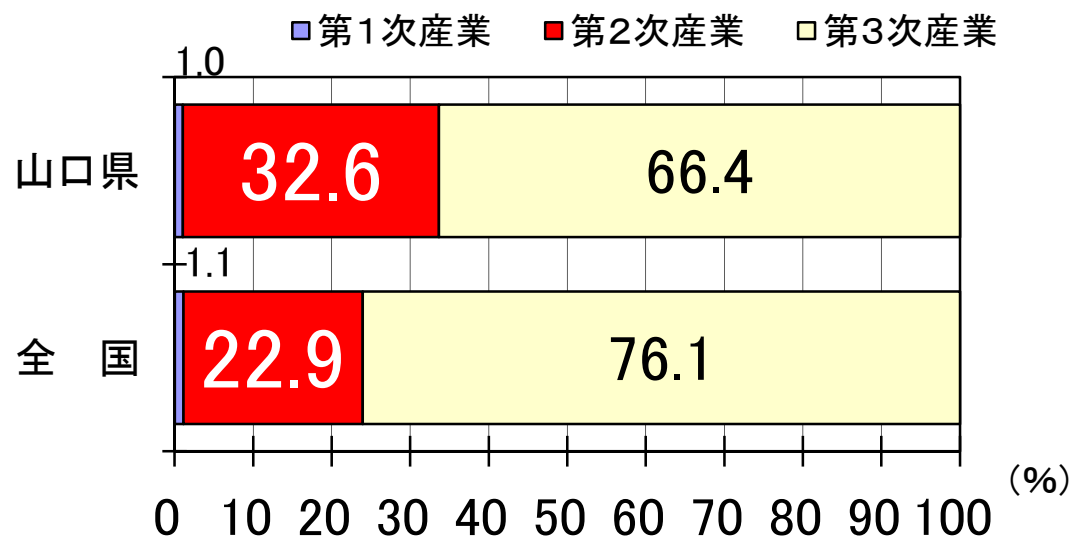
（「山口県産業戦略本部」全体会合）

本県経済は、全国に比較して第2次産業の割合が大きなウエイトを占める『工業県』

【製造品出荷額等】

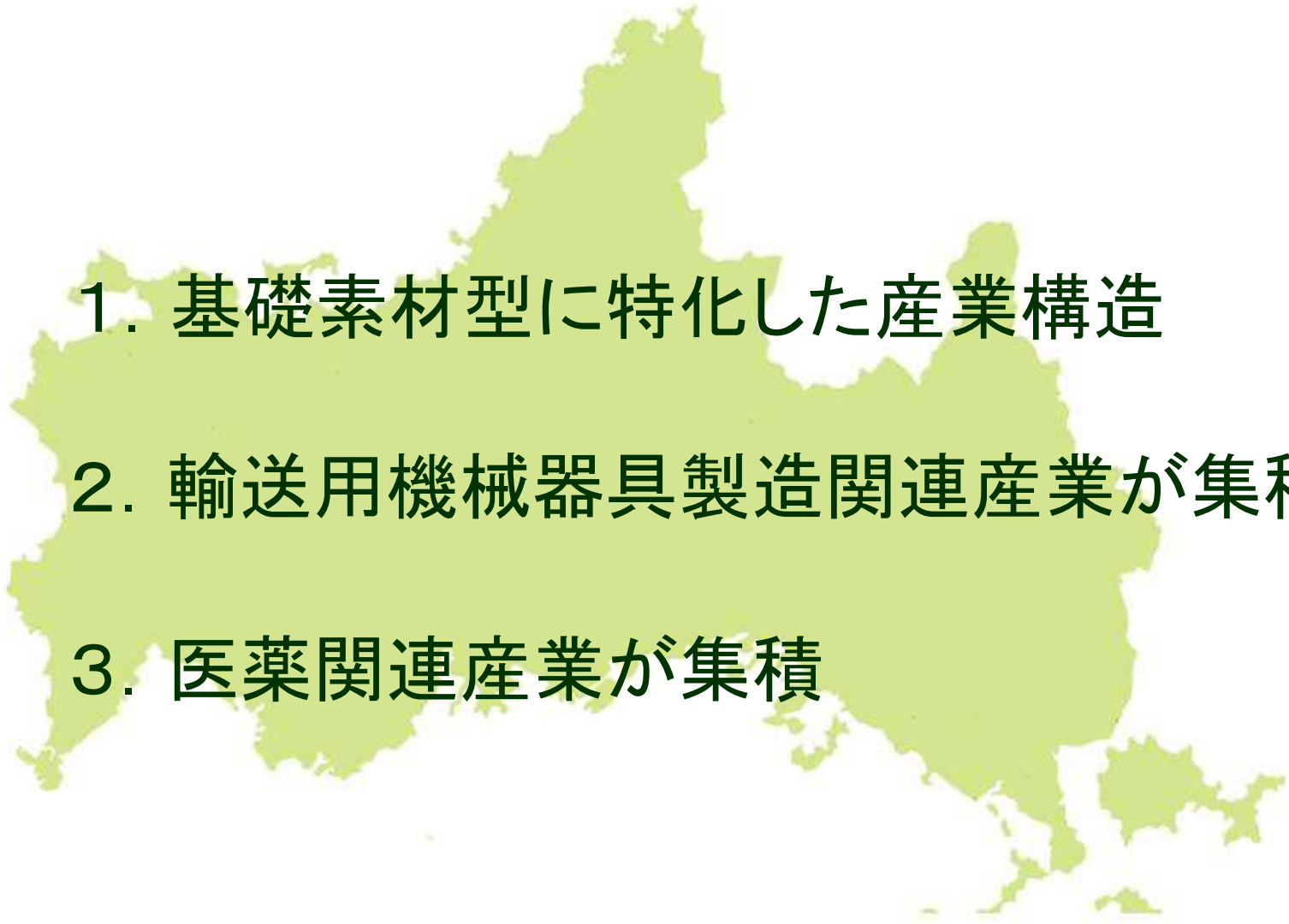
- ・全国第18位
- ・シェア 2.2%
- ・1事業所当たり 全国第1位
- ・従業員1人当たり 全国第1位

産業3部門別構成比



資料：「平成22年度県民経済計算」内閣府

県内総生産に占める第2次産業比率 32.6%
(全国平均22.9%)

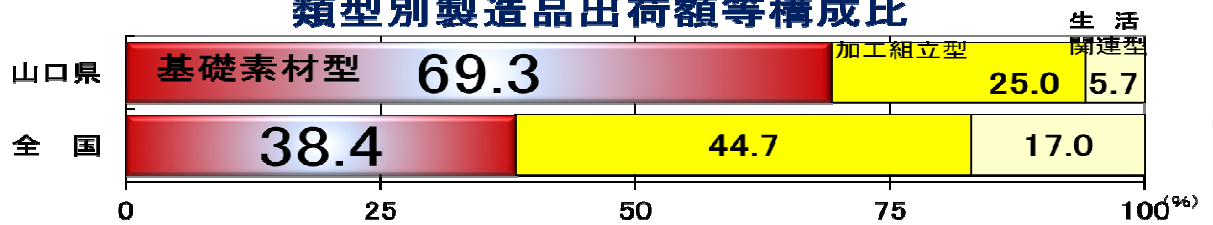
- 
1. 基礎素材型に特化した産業構造
 2. 輸送用機械器具製造関連産業が集積
 3. 医薬関連産業が集積

基礎素材型産業の状況

本県の産業構造は、基礎素材型に特化

◎主な企業集積

類型別製造品出荷額等構成比



・産業別構成 基礎素材型が約7割 化学:第5位 石油・石炭:第4位 鉄鋼:第11位

石油	出光興産(株)
化学	東ソー(株)
化学	日本ゼオン(株)
化学	日本ポリウレタン工業(株)
化学、窯業、土石	(株)トクヤマ
鉄鋼	日新製鋼(株)
化学	山口リキッドハイドロジェン(株) ※H25.6月 工場の操業開始

石油	JX日鉱日石エネルギー(株)
化学	三井化学(株)
化学	帝人(株)
化学	東洋紡(株)

鉄鋼	東洋鋼鈹(株)
鉄鋼	鋼鈹工業(株)

化学	協和発酵バイオ(株)
----	------------

化学	下関三井化学(株)
非鉄金属	(株)神戸製鋼所
石油	西部石油(株)
鉄鋼	共英製鋼(株)

鉄鋼	新日鐵住金ステンレス(株)
----	---------------

化学	宇部興産(株)
化学	チタン工業(株)
化学、窯業、土石	セントラル硝子(株)



輸送用機械器具製造関連産業の状況

輸送用機械器具製造関連産業 ⇒ 全国11位 自動車、船舶、航空、鉄道、自転車全ての分野で立地

自転車	(株)シマノ
造船・輸送用機械	サンセイ(株)
ゴム	(株)ブリヂストン
造船・航空機	三菱重工業(株)



鉄道車両 (株)日立製作所

自動車	マツダ(株)
ゴム	(株)ブリヂストン

医薬品関連産業の状況

◎多くの医薬品製造施設が県内に立地

- 原薬（原末、原液）の製造が多い ⇒ 全国 2位(H21)
- テルモ山口(株)の進出

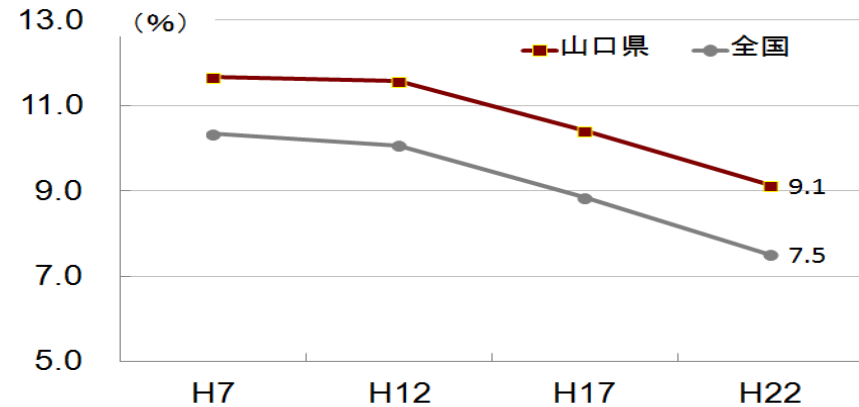


山口県の建設業の現状と課題

地域の維持管理、災害対応等を担う建設企業の経営環境の改善が必要

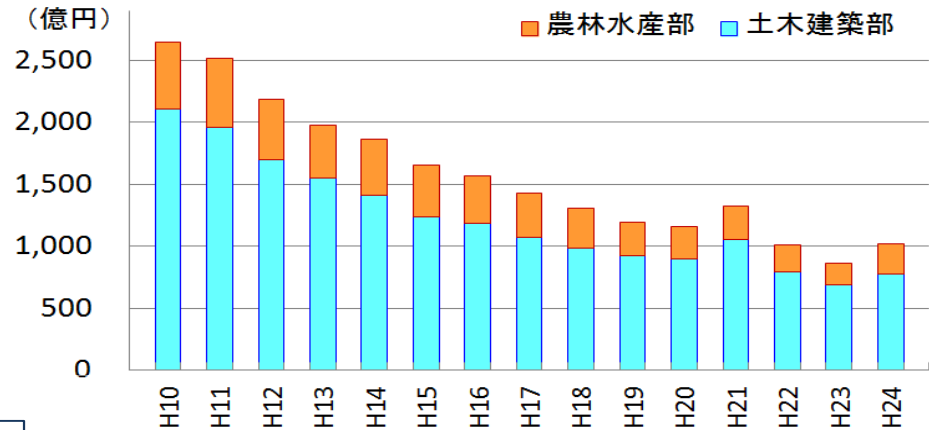
○建設就業者の割合

・山口県9.1%(H22、全国第8位) ※全国7.5%

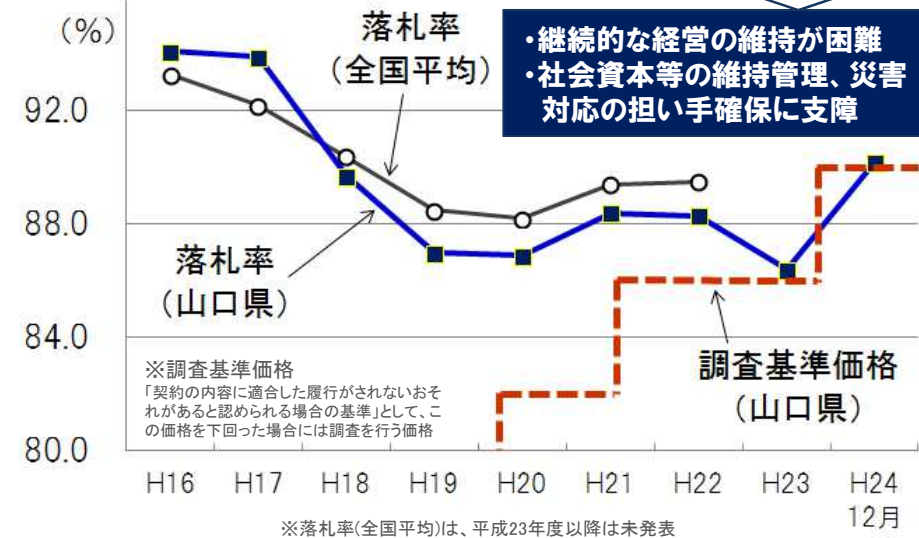


○公共事業予算の推移(最終予算ベース)

・H24年度の予算規模はピーク時(H10)の約4割

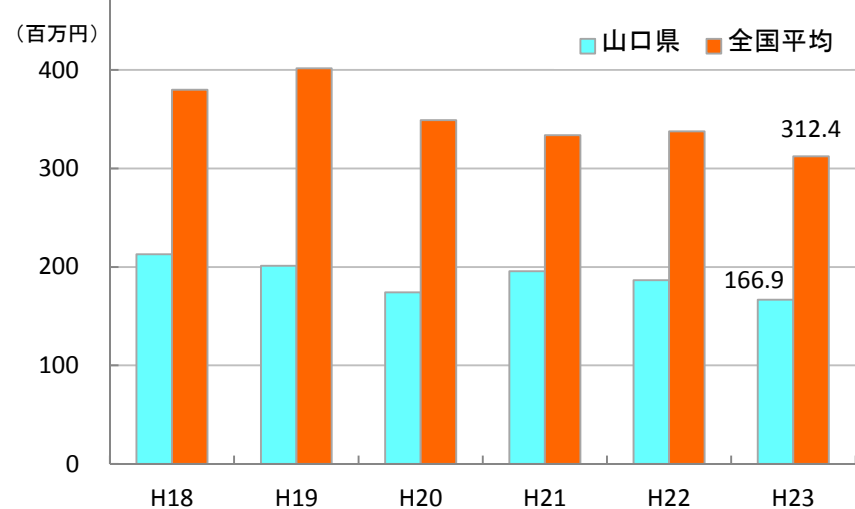


○落札率の状況



○1業者あたりの完成工事高(公共及び民間工事)

・山口県166.9百万円(H23、全国第36位) ※全国312.4百万円



山口県の製造業の課題

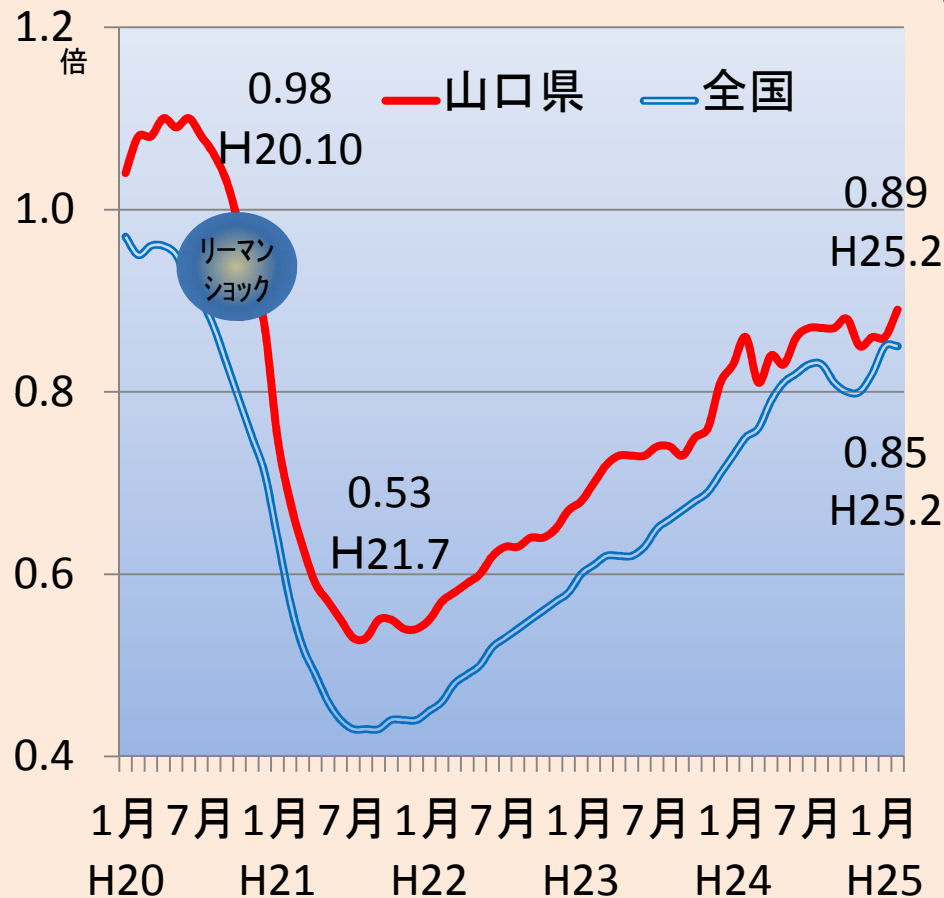
リーマンショック以降、厳しい雇用情勢

【有効求人倍率】(季節調整値)

山口県 0.89倍 (H25. 2)
 全国 0.85倍

- ・リーマンショック以降1倍を下回り、改善傾向にはあるものの **4年以上連続して1倍を下回る**
- ・近年の県内の企業撤退の状況

会社名	離職者数
シルトロニック・ジャパン	513人
エム・シー・エス	468人
ルネサス	771人
大畠製作所	89人



※県人口は今後も減少傾向 **20年間で約20%減少** (139万人[2015]→110万人[2035] ▲29万人)

※特に生産年齢人口(15～64歳)は **20年間で約25%減少** (78万人[2015]→59万人[2035] ▲19万人)



1. 道路の現状と課題

2. 港湾の現状と課題

3. 空港の現状と課題

4. 工業用水の現状と課題

道路の現状と課題

幹線道路網と物流拠点とのアクセス道路の整備・強化が必要

- : 自然災害に対し脆弱なエリア
- : 渋滞が顕著なエリア



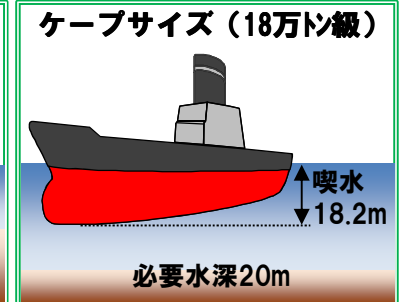
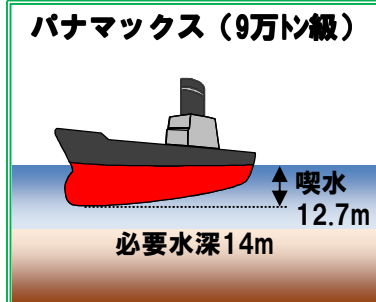
○山口県における重量物等の輸送ルートに係る「高さ」・「重さ」制限値の緩和

「高さ指定道路」 1,065.3km(H25.4追加指定 128.5km)	※高さ指定道路:車両高さ 本則3.8m→4.1mに緩和
「重さ指定道路」 1,650.7km(" 28.3km)	※重さ指定道路:車両総重量 本則20t→25tに緩和

旧世代の港湾機能から脱却し、船舶大型化への対応が必要



○年間取扱貨物量 全国 9位
○コンテナ取扱個数 全国11位
(2011年データ)



《国際バルク戦略港湾の概要》徳山下松港・宇部港(石炭)

○目的

- 我が国の産業に必要不可欠な石炭を安定的かつ安価に供給
- モノづくり産業の活性化による日本の国際競争力強化

○目標

- 2015年目標：パナマックス満載入港対応(岸壁水深14m)
- 2020年目標：ケーブサイズ満載入港対応(岸壁水深20m)



※ 括弧書きは各港における最大の公共岸壁の水深及び当該岸壁に係留可能な貨物船のトン数を示す

空港の現状と課題

**岩国錦帯橋空港開港を契機とした
企業誘致及びビジネス利用の促進
が必要**

岩国錦帯橋空港
(平成24年12月13日開港)
東京便 1日4往復

山口宇部空港
東京便 1日10往復
(2013/3/31~5/31)



工業用水の現状と課題

安定供給に向けた水資源の確保と渇水への対応が必要

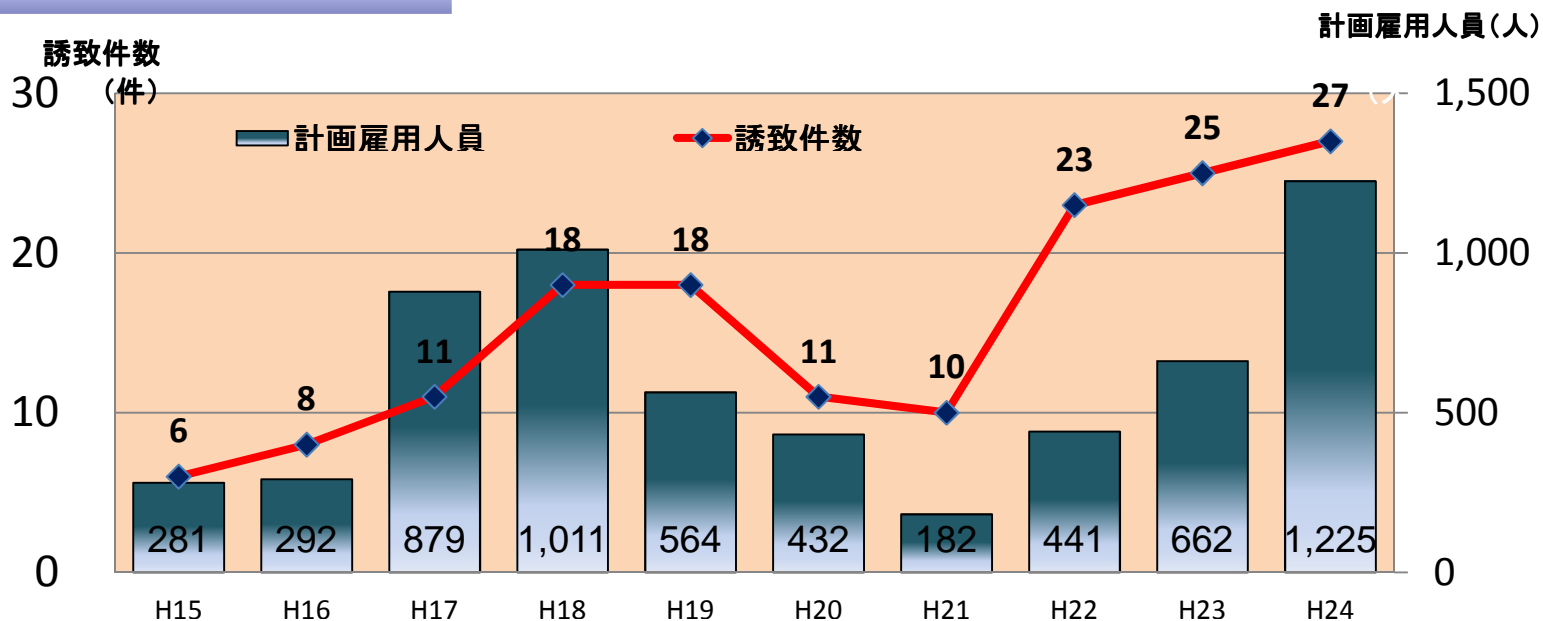
○給水能力 約171万m³/日 全国1位
 ○契約水量 約159万m³/日 全国1位
 (2012年データ)



※各エリアの()内は契約率(契約水量/給水能力)

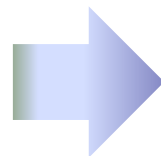
誘致企業件数は伸びているが、一方で企業撤退等により未利用地が増加

◆誘致企業件数等の推移



◆工場跡地等未利用地の状況

半導体関連企業等の撤退などにより、未利用地が増加



県内未利用地(H24.11月現在)

- ・91箇所
- ・636ヘクタール

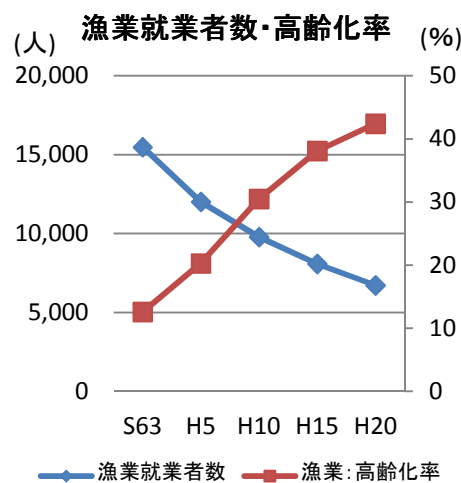
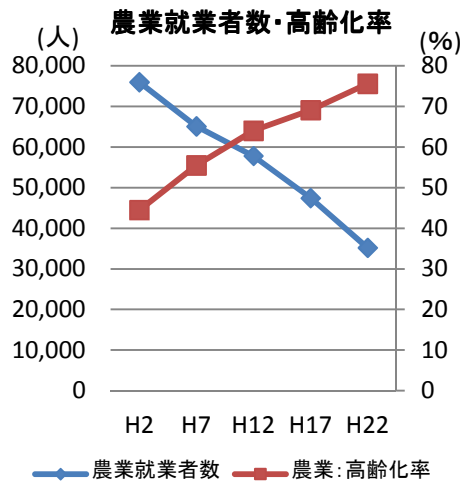
山口県の農林水産業の現状と課題①

- ・ **農業**：1戸あたり耕地面積が小さく、副業的農家が約7割(全国より15%高い)農業就業者の高齢化が進み、平均年齢は全国2位
- ・ **林業**：私有林が約8割を占め、産出額は木材生産が主体
- ・ **漁業**：比較的規模の大きい漁業は日本海側に集中し、瀬戸内側は零細漁業が主体
水産加工品の内、かまぼこ類は全国第3位の生産量

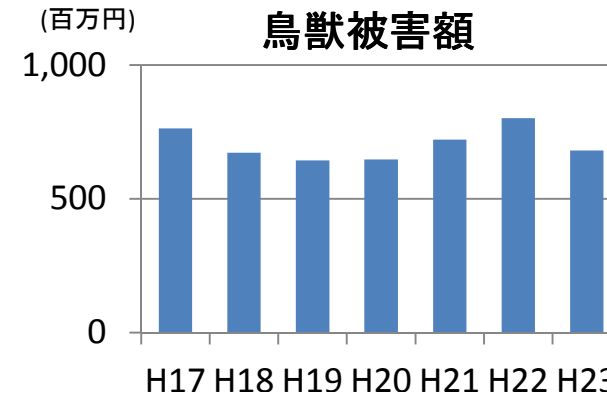
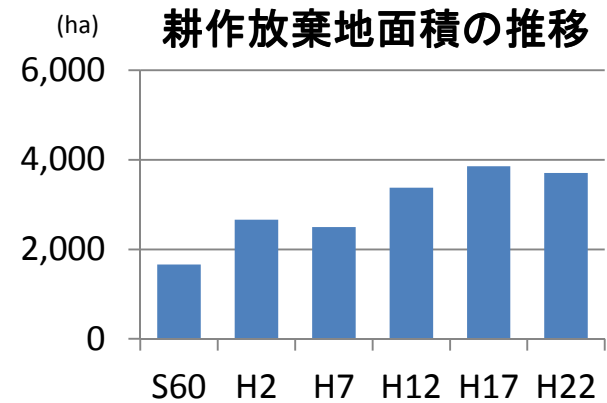
項目	H12年度	H22年度
農業就業人口	57,820人(64%)	35,204人(76%)
森林組合作業班員数	991人(49%)	432人(14%)
漁業就業者	9,779人(30%)	6,723人(42%)

(農林業センサス、漁業センサス)
※漁業就業者は、H10・H20年度データ、※()内は高齢化率

担い手の減少・高齢化の進行



生産基盤の脆弱化



価格の低迷

米取引価格(県産コシヒカリ) (／60kg)	15,142円 (H18)	12,748円 (H22)
子牛市場価格(雌、去勢の平均) (／頭)	465千円 (H17)	341千円 (H22)
木材価格(ヒノキ3m : 径14~16cm) (／m ³)	18,800円 (H17)	20,300円 (H22) ※12,400円(H24)円高の影響
あじ類(瀬つきあじ等)価格 (／kg)	335円 (H15)	303円 (H22)

◆担い手の減少・高齢化

◆生産基盤の脆弱化

◆生産物の価格低迷

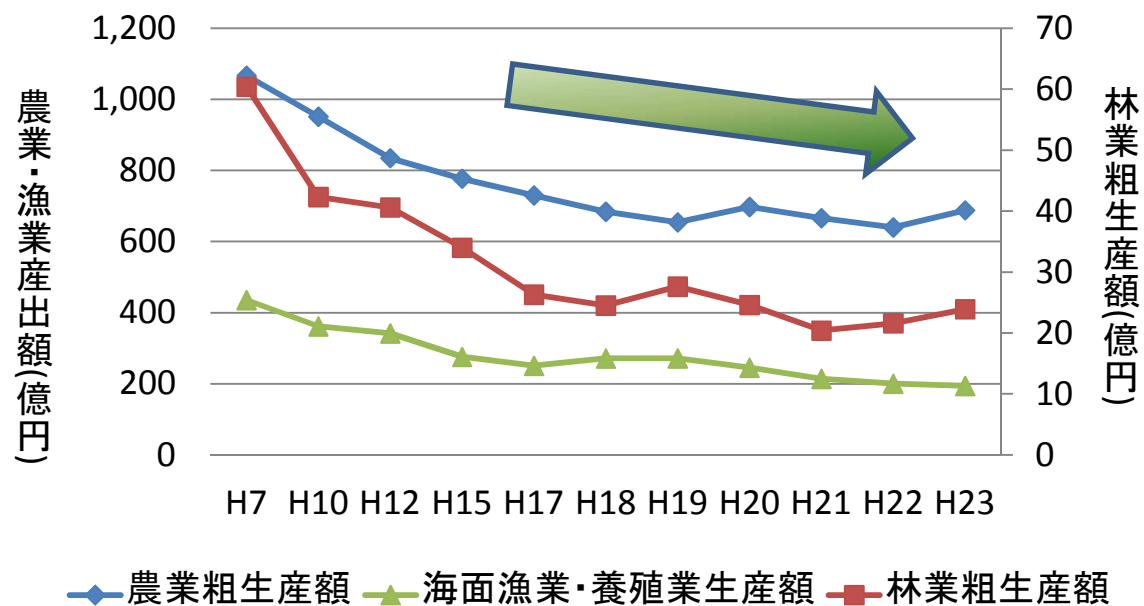


■粗生産額の減少



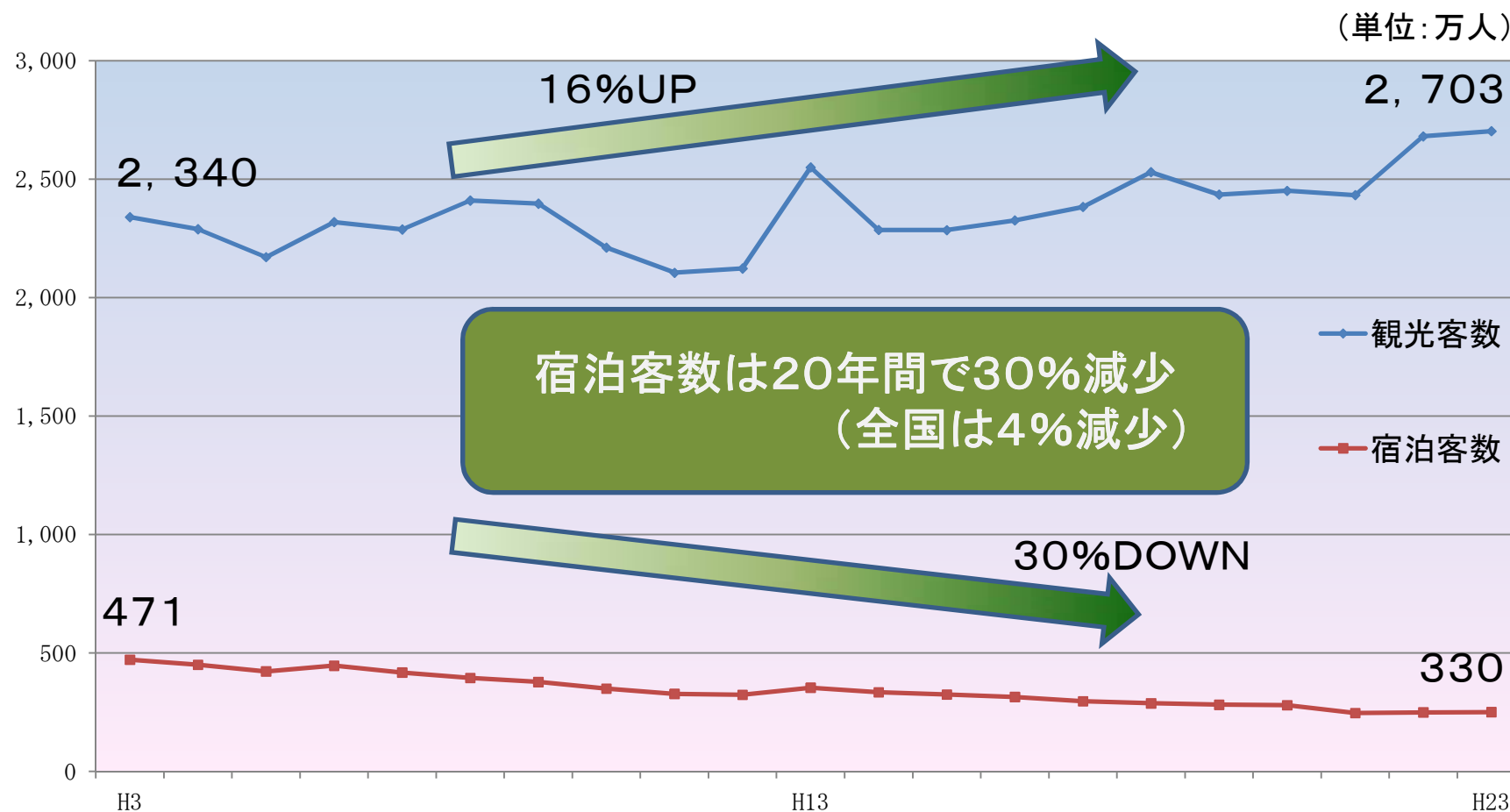
▲一次産業の低迷

農林水産業の粗生産額の推移



【資料: 生産農業所得統計・生産林業所得統計・漁業・養殖業生産統計年報】

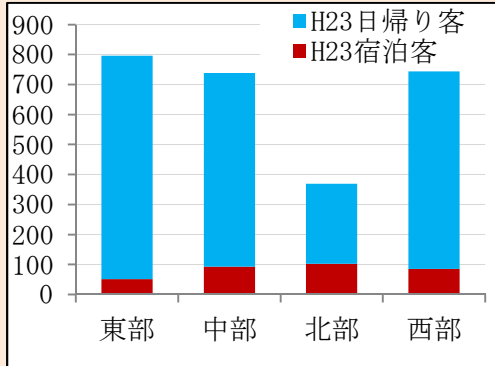
観光客数は順調に推移しているが、宿泊客数は減少傾向



※H24 外国人宿泊者数 3.2万人、全国36位、全国比率0.21%

山口県の観光の現状と課題②

県内地域別の観光客に占める宿泊客の状況



(単位:万人、%)

区分	H23 宿泊客数	H23 観光客数	割合
東部	51	796	6.4
中部	93	738	12.6
北部	102	369	27.5
西部	85	743	11.4
全県	330	2,646	12.5

※国体は除く
 ※宿泊客の割合(ピーク時:平成3年20.1%)

宿泊・滞在型観光の受入基盤

【H23 県内宿泊施設の状況】

(単位:数、人、%)

施設数	客室数	収容人数	定員稼働率
523	14,892	32,682	34.7

【H23 コンベンションの受入状況】

件数	人数
146件	62千人

【H24 クルーズ船の寄港状況】

国内	海外
11回	2回

本県観光の認知度、ブランド力

【H24 地域ブランド調査結果】 ※(株)ブランド総合研究所調査より

認知度	情報接触度	魅力度	観光意欲度
44位	46位	34位	40位

【H23 宿泊旅行における意識調査】

区分	優先順位	本県の満足度	全国順位
食	1位	55%	32位
温泉地	2位	26%	39位

【H24 にっぽんの温泉100選】 ※じゃらん宿泊旅行調査より

総合順位	温泉名
43位	長門湯本
86位	湯田

※観光経済新聞調査より

外国人宿泊者の状況

(単位:人、%)

区分	H20	H21	H22	H23	H24
実人数	19,370	16,920	28,020	23,870	32,230
全国順位	42	42	42	36	36
〃比率	0.13	0.14	0.16	0.21	0.21
(参考)延べ人数	28,570	25,230	41,400	37,020	46,790

※国宿泊旅行統計調査より(H24は暫定値)



山口県の産業戦略

【基本的な考え方】

- 全国的にも優れた瀬戸内沿岸の産業集積を活かし、より強い産業を創っていく。
 - ◆ 産業発展の基盤となる港湾や道路等のインフラ整備・充実
 - ◆ 成長期待される環境・医療分野における次世代型産業の育成
 - ◆ 企業誘致をはじめとする新規投資の促進

瀬戸内産業の再生・強化を梃子にして、第一次産業から第三次産業まで、バランスのとれた産業力の増強

【4年間の目標】

- 工業出荷額を10%増(年間6兆3千億円を7兆円以上に)
- 新規投資(企業誘致・規模拡大投資)200社以上
- 農林水産分野で「100のやまぐちブランド」の育成
- 年間宿泊観光客数400万人以上
- 新規雇用創出2万人以上

◎「5つの全力」への重点配分

配分額

H25当初予算ベース **1,254億65百万円**
 (15ヶ月予算ベース **1,686億49百万円**) ※いずれも再掲を除く額

《施策体系と予算措置》

※下記の予算額は、いずれも再掲を含む額

5つの全力		H25当初予算	15ヶ月予算
1	産業力・観光力の増強	305億 7百万円	437億58百万円
	<ul style="list-style-type: none"> ○ 推進体制の強化（産業戦略本部等） ○ 「瀬戸内の産業力」の再生・強化 ○ 中小企業の成長支援 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 農林水産業の再生・強化 ○ 観光力の向上 ○ 産業人財の創造 	
2	人財力の育成	181億12百万円	188億34百万円
3	安心・安全力の確保	894億62百万円	1,216億13百万円
4	県民くらし満足度向上	23億64百万円	23億64百万円
5	山口県民力に相応しい行政システムづくり	2億86百万円	—

産業力・観光力の増強

《 6つの柱 》

《 重点取組項目 》

推進体制の強化

- 産業戦略本部の設置
- やまぐち産業戦略アドバイザーの設置
- トップセールスの推進

「瀬戸内の産業力」の再生・強化

- 産業基盤整備の推進
- 次世代型産業の育成・集積
- 企業誘致と新規投資の促進

中小企業の成長支援

- 中小企業力の向上
- ふるさと産業の振興
- 第三次産業の振興

農林水産業の再生・強化

- 「味な都・やまぐち」の推進
- 中核経営体の確保・育成
- 需要に即した品目の生産拡大
- 農山漁村資源の回復・増大

観光力の向上

- 戦略的な情報発信
- 観光地の魅力向上
- 外国人観光客の誘致拡大

産業人財の創造

- 雇用の創造
- 産業人財の育成
- 就業の促進

◎産業基盤整備の推進

13,033,673千円

幹線道路や物流拠点である港湾等とのアクセス道路、港湾施設などの産業基盤の整備を強力に推進します。

◆事業別内訳

(単位 百万円)

区 分	H24.2月補正 A	H25当初 B	15ヶ月予算 A+B	備 考
補 助 公 共	1,603	7,486	9,089	補助・直轄の 対前年度当初 予算伸び率 ↓ [H25当初] 102.6% [15ヶ月予算] 127.1%
道 路	1,034	4,218	5,252	
港 湾	569	1,546	2,115	
街 路	0	1,722	1,722	
直轄事業負担金	1,095	3,794	4,889	
道 路	700	229	929	
港 湾	395	3,565	3,960	
補助・直轄計	2,698	11,280	13,978	
単 独 公 共	—	1,754	1,754	
道 路	—	1,437	1,437	
港 湾	—	30	30	
街 路	—	287	287	
合 計	2,698	13,034	15,732	

「産業力・観光力の増強」に向けた主な取組②

◎高速交通道路網調査 30,000千円

[事業内容]

地域高規格道路など高速道路網の早期整備に向けた調査

- 地域高規格道路小郡萩道路(美祢市 美東町 絵堂～萩市間)
- 地域高規格道路下関北九州道路
- 国道188号岩国南バイパス南伸

◎山陰道整備促進事業 30,000千円

[事業内容]

山陰道の早期整備に向けた調査

- 島根県益田市 ～ 萩市間
- 長門市 ～ 下関市間

◎「港の底力」活性化事業 44,000千円

[事業内容]

企業の新たなニーズも踏まえ、ポートセールス等を促進

- 潮汐利用による大型船舶入港の実現
- 小名浜港との連携

◎物流等基盤強化推進事業 20,000千円

[事業内容]

- 企業等のニーズ調査・分析
- ニーズを踏まえた道路整備事業群の作成及び 評価指標の検討
- 整備方針及び事業展開の検討

◎ 次世代産業クラスター形成事業

70,000千円

本県産業の特性や強みを活かして、産学公連携により県内企業の研究開発や新事業展開を促進することにより、「環境・エネルギー分野」及び「医療・福祉・介護分野」における次世代産業の集積を促進します。

[事業内容]

- 1 イノベーション推進体制の構築
 - 「やまぐちイノベーション推進協議会」の設置・運営
 - イノベーション推進チームの設置
- 2 戦略的研究開発等の実施
 - 産学公連携による研究開発
 - 成長分野への新規参入を促進するセミナー等の開催
 - 首都圏大規模展示会出展等による技術動向・販路調査



◎ 液化水素エネルギー利活用プロジェクト推進事業 35,000千円

本年6月の液化水素製造工場の操業開始を契機として、液化水素エネルギー利用製品の試作開発等を支援し、環境負荷低減型の次世代産業の集積を促進します。

[事業内容]

1 液化水素関連技術調査

液化水素の特性を活用した具体的な利活用方策について調査

2 液化水素エネルギー利活用製品の試作開発・実証実験

〔対象者〕 新エネルギー研究会会員企業

〔対象事業〕 液化水素の利活用による県内企業の新事業展開を促進するため液化水素エネルギーを最大限利用する製品の試作開発・実証実験



◎ やまぐち夢づくり産業支援ファンド事業 103,000千円

商工業を中心に農林水産業も含めた総合的な産業力強化を図るため、総額10億円の投資ファンドを創設し、技術力のある中小企業の成長や農商工連携等に取り組む企業の育成を推進します。

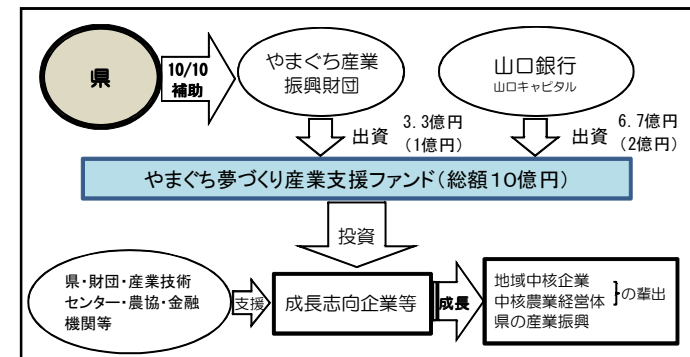
[事業内容]

1 出資総額
10億円(県1/3:金融機関等2/3)

2 投資対象

今後の成長が期待される中小企業、農林漁業者

- ・環境、新エネルギー分野等の次世代産業等に取り組む企業
- ・産学公連携により新たなものづくり等に取り組む企業
- ・経営革新計画等を実施し、さらなる成長を図る企業
- ・農商工連携に取り組む企業
- ・6次産業化に取り組む農林漁業者



※事業スキーム

「産業力・観光力の増強」に向けた主な取組⑥

◎味な都・やまぐち推進事業 47,000千円

味や品質に優れ、全国的に誇れる県産農林水産物「やまぐちブランド」を核とした県産農林水産物等の需要拡大を推進します。

[事業内容]

- 「やまぐちブランド」の創設
- ブランド取扱量販店・飲食店の設置
- ブランドネットショップ開設
- ブランド食材活用メニューの開発 等



◎ (株)おいでませ山口県観光プロジェクト推進事業 65,000千円

「(株)おいでませ山口県」による戦略的な観光情報発信を国内外で展開します。

[事業内容]

- 「島耕作」などキーパーソン等を活用した効果的な観光情報発信
- 「やまぐち味紀行」構築による観光素材の充実
- 「(株)おいでませ山口県」国際支店の設立



(株)おいでませ山口県